



新しい年度がスタートしました。 学級開き・授業開きについて

4月に入り、須賀川市内の桜も満開になりました。釈迦堂川の桜もきれいに咲いています。学校では入学式も終わり、センターの近くでも黄色い帽子をかぶった小学1年生が歩いている様子を見かけます。子ども達も毎日希望にあふれて登校しているのではないのでしょうか。

学校では初日、着任式、始業式、入学式が行われ、新しい教科書を配付されていたと思います。



4月も中旬になりましたが、学級開きはどうかでしょう。学級開きは、最初の3日間が勝負と言われています。学級担任として、子ども達が夢をもち、安心して、楽しく学ぶ学級になるように伝えることができたでしょうか。「〇〇をやったらだめです」「このようにしなさい」等の命令的な言葉を使わないようにしたいものです。学級開き・授業開きは小学校と中学校で多少の差はあると思いますが、ここで、学級開き・授業開きのポイントを確認していきましょう。

1 学級開きで、教師の思いを伝えよう！

子ども達にとって学級は、一日の大半を過ごす場所です。「安心・安全で楽しい場所」であることが大切です。教師が夢を持ち夢を語ることで、子ども達も夢を描くことができるのではないのでしょうか。しっかりと「こんな学級にしたい！」と思いを伝えていきましょう。「誰一人取り残さない学級」になるように心がけていきましょう。

2 みんなで学級目標を立てよう！

教師の思いを伝えたら、今度は学級目標です。学級目標は、学級のみんなでしっかりと作りあげるようにしましょう。発達段階で学級目標の違いはあると思いますが、形式的にならず、この学級で大切なことは何か、一年を通して大事にしたいことは何かということをしっかりと考えさせたいものです。学級目標は、常に見えるところに掲示し、常に意識させるようにしましょう。

3 この学級で出会った友達は、一年間一緒に過ごす大切な存在であること伝えよう

人生は、いろいろな出会いが待っています。この出会いを大切にしたいものです。特に長期で休んでいる子どもも学級の一員であることを忘れずにしましょう。



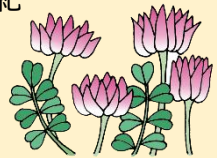
◇ 適応指導「すこやか教室」開所式の実施 ◇



4月7日（火）、7名の子ども達を迎えて、すこやか教室の開所式が行われました。所長あいさつの後、3名の指導員と2名の指導主事からのお話がありました。今年は新しく添田栄美子先生と大竹正紀先生が指導員になりました。よろしくお祈りします。開所式では子ども達が今年の抱負を立派に発表することができました。また多くの校長先生に出席いただき、誠にありがとうございました。今年度も、すこやか教室は、過ごしやすく温かい居場所と学びの場を提供していきますので、よろしくお祈りします。

令和8年度のセンターのスタッフです。よろしくお願いします。

<教育研修センター・教育支援センター> 所長・指導主事 安田柳一
<教育研修センター> 社会教育主事兼指導主事 根本雄一
指導主事 十文字直子
すこやか教室指導員 圓通圭司 添田栄美子 大竹正紀
<教育支援センター> 指導主事 三瓶浩美
指導主事 西牧辰典
指導主事 芳賀孝美 (非常勤)
SSWR 相樂麻紀 柴原節子



教育研修センター・教育支援センターの業務内容について

<教育研修センターの事業内容>

昨年度から、教育研修センター・教育支援センターの業務内容が大きく変わっています。昨年度まで実施していた夏季セミナー研修やジャンプアップ研修に加え、市新採用教員・新任常勤講師研修会などもセンターで行うようになりました。以下のような業務内容を行っていますので、今後ともよろしくお願いします。

- 教科等教育研修、セミナー研修、ジャンプアップ研修、外部講師派遣研修等
- 県教育センターが実施している基本研修、職能研修、専門研修
- 市新採用教員・新任常勤講師研修会等
- 全国教員研修プラットフォーム・Plant
- 要請訪問と支援訪問
- 適応指導「すこやか教室」の運営
- サポートティーチャー
- ムシテックプログラム開発
- 架け橋期の学び（こども課との連携）
- 地域学校連携（社会に開かれた教育課程）



<教育支援センターの事業内容>

- 当該児童生徒及び保護者に対するカウンセリング、教職員に対するコンサルテーション
訪問教育相談
- 特別な支援を要する子どもの心理検査等
- 個別の教育支援計画にもとづく支援体制の整備、個人情報の共有と支援の具体化、合理的配慮に係る実績事例の共有、小・中学校と幼稚園・こども園、特別支援学校との連携
- 保健・福祉・医療等と連携した就学相談
- 特別支援コーディネーター研修会
- ムシテックに関わる特別支援教育

その他に、センターだより「みち」の発行（月1回）や教材開発を行っています。

<連絡先> 須賀川市教育研修センター・教育支援センター

〒962-0839 須賀川市大町172 Tel.0248(72)7185 (72)7186 (FAX兼用)

今月の言葉

教員というのは、教室に入ると一種の職人意識が働き、他人に見られたがらないものです。しかし、閉じた授業のままではよいところも悪いところも明らかにならず、改善のしようがありません。思いきって閉鎖的な状況を打ち破り、互の授業を見学し合うことも始めました。

「奇跡と呼ばれた学校」から 元京都市立堀川高校校長 荒瀬克己